

花咲き山

令和3年度
飯豊町立飯豊中学校
第2学年だより
第27号
2021.10.8
文責：小松正義

定期演奏会を終えて

私は、三年生と定期演奏会に出られた事がとてもうれしかったです。本番に向けてたくさん練習してきました。三年生も自分の事で精一杯なはずなのに、私にたくさん教えてくれました。同じパートの先輩もすごく優しく、たくさんほめてくれるし、良いところをたくさん言ってくれました。本番前、曲を合わせていた時も、細かいところを教えてくれて、本当に助かりました。本番はたくさんの方が見に来ていて、上手に吹けるかどうか焦っていたけど、ステージにあがると、緊張感も無くなり、楽しく演奏する事ができました。私がここまで吹けるようになった事を、演奏後も先輩たちがほめてくれて、本当にうれしかったです。今の三年生がいなかったら、ここまで吹けるようにはならなかったと思います。

今後は、三年生に教えてもらった事を、先輩に教えながら、頑張りたいです。

一組 齊藤美紅

1組 長岡和佳葉

10月3日、定期演奏会があった。3年生と演奏できる最後の日。今日で最後という実感がないうまま演奏会が始まった。

1部・2部では上手にできるか、ミスしないかと不安で手が震えた。何回かミスはしたけど、最後までしっかり演奏できた。袖に行くと思番のない1年生が笑顔で、「先輩の演奏かっこよかったです。おつかれさまでした。」と言ってくれてうれしかった。3年生の演奏は音からかっこよくて「さすが」と心から思える演奏だった。

3部では、3年生のMC、演奏、一郎先輩のラップで、全力で楽しみ、たくさん笑い感動した。こんなに素敵な先輩が今日で引退と考えると少し悲しくなった。

演奏会が終わり、2階で1人ずつ話をした。3年生のどの言葉も気持ちが伝わってきて、たくさん涙を流した。特に優介先輩の言葉が一番心に残った。

これからは、私がパートのリーダーとしてまとめていかなければならない。とても不安だけど1年生がついてきてくれると信じて、自信を持って頑張っていきたい。

1組 佐藤穂乃華

10月3日に定期演奏会をやった。来てもらう方に最高の演奏を聴いてもらうために練習を頑張ってきた。私が特に頑張った事は2つある。

1つ目は、音程をとることだ。練習の時は、音が揺れて全然ダメだったけど、本番では練習よりも音程をとることができた。

2つ目はミスをしなくて演奏することだ。リハーサルでは同じところを何回もミスをしてしまった。本番でも少しミスをしてしまったので、次のコンクールなどでは、ミスなどをしないで演奏したいと思った。自分自身の目標は達成できなかったけど、最後は笑顔で終わったと思う。

今回の演奏会は3年生にとって最後の演奏会だった。私は先輩から沢山の事を教えてもらったから、次は私が1年生に沢山教えられるように頑張りたい。

一組 宇山つばき

僕は、三年生が楽しく、悔いなく終われるように、毎日の練習を三年生の音を支えられるように頑張った。一つの音を丁寧に、音を伸ばす時はきれいに伸ばすことを目標に定期演奏会で吹いた。二年生のみで演奏する曲があり、吹いている最中で楽譜を落とすハプニングがあったが、練習を思い出して楽譜を見ないで演奏をした。練習することがとても重要だということを知った。その後、みんなも優しく声をかけてくれて、仲間がいて良かったと思った。仲間がいてくれたおかげで、練習もたくさんできたし、教え合うことができたから。これからも、吹部全員で協力して、飯豊の音をより良くしていきたい。

1組 高橋桃華

私は定期演奏会が終わって得たことがたくさんある。

1つ目は、3年生の存在だ。今回の定演で、1・2年生だけで演奏した「キセキ」でわかった。3年生がいなくて音にまとまりがなく、自分では下手だと思った。この時、私はいつも先輩にたよっていたんだと実感した。だからこれからは、自分の演奏に自信をもてるようにしたい。

2つ目は、演奏を聴いてくれている人たちの声や拍手だ。定演では拍手をたくさんもらった。私は最初すごく手が震えた。しかし最初の演奏を終え、拍手の音を聞いているうちに、手が震えていたのが震えなくなった。だから、拍手や声援はすごい力を持っているのだと分かった。

これからは今までの演奏を上回る演奏をし、その演奏を先輩方に聴いてもらいたいと思った。

新人大会や定期演奏会を通して、子ども達は色々なことを学んだようです。特に3年生の存在の大きさに気づき、次は自分たちがという意欲が高まったことが分かります。部活は単独の学年でチームを組めるほど人数がいまいません。だからこそ、縦のつながりが大事になるのですね。